

一隅を守り

PROTECT A CORNER

千里を照らす

ILLUMINATE OF THOUSAND MILES

守一隅而照千里

小松電機産業株式会社

人間自然科学研究所



混迷の時代 出雲から陽が昇る
Youtube 34 分 10 秒

正義から道理へ

From justice to reason

平和・環境・健康はひとつ

Peace, environment and health are one

歩いた後に 道ができる

The road is born after walking

从正义到道理

和平・环境・健康三位一体

走过后路自成



活動のあゆみ
Youtube 21 分 17 秒

八雲立つ日本 出雲から陽が昇る

社 是

社業を通じて世界に喜びの輪を広げよう

経営理念

おもしろ おかしく たのしく ゆかいに

行動指針

三方良し 先義後利



小松電機産業株式会社
ホームページ



人間自然科学研究所
ホームページ

広

々とした穏やかな湖面にぼつんと浮かぶ嫁ヶ島。たゆたう波間に水鳥が浮かび、夕暮れともなれば、息を呑む絶景が広がる。そんな宍道湖を眺める高台に、「平和・環境・健康はひとつ」を世界に発信する会社がある。

世界を視野に深遠な時流を読み、その読みに基づく国際・国内・地元に向けて社会変革の布石を打ってきた。その読みと布石を背景に、卓越した着眼、構想力・決断力で3つの永遠の事業を創出し、天略経営理論を確立する。そして、天略経営を実践できる準備を国際的に行ってきた「ドゥー&シンクタンク人間自然科学研究所」を生み育てた会社である。

前代未聞のベンチャービジネスの旗手と言われる小松昭夫率いる小松電機産業だ。

東京・豊洲市場をはじめ国内外で18万8000台が採用されている 地球温暖化防止・空間価値創造システム「happy gate 門番」と、水のクラウド総合管理システムのパイオニア「やくも水神」を開発。その業績は高く評価され「ニュービジネス大賞最高賞」や「ものづくり日本大賞優秀賞」、科学技術庁の「注目発明選定証」を受賞。すべて事業の社会性が注目された受賞だったが、「happy gate 門番」や「やくも水神」は、市民の日常生活を支える、縁の下での力持ち的存在で、一般の人たちの目に触れることは少ない。

2つの事業の収益金で1994年ドゥー&シンクタンク「人間自然科学研究所」設立。国連に併設される「国民国連」の創出を目指した26年間の活動は、人類史の時間軸で世界を俯瞰、「平和・環境・健康はひとつ」を旗印に、官民連携から公民連携、その先のデータ共有化を核にした「民民公連携」を提唱、企業の社会的責任(CSR)から共通価値創造(CSV)、その上

の天略経営理論(CSX)の完成と実証を目指し、恒久平和モデル創出に至る道筋を確立しようとしている。

2013年、四半世紀に及ぶ、貫いた活動が国際的に注目され、カーネギーの寄付により創設された、オランダ・ハーグの「平和宮」建立100周年祭で、アルフレッド・ノーベル、ロックフェラー、テッド・ターナー各氏、そしてアジアからは、慶熙大学元総長の趙永植(チョウ・ヨンシク)氏、京都出身で、立命館大学区内に世界で唯一の平和ミュージアムを作られた中野信夫氏と共に「100年間の世界の平和事業家20人」の一人に選ばれた。

翌2014年には、女性初のノーベル平和賞を受賞したベルタ・フォン・スットナーに由来するスットナー賞。2019年には、「アジアはひとつ」を提唱した岡倉天心に由来する「岡倉天心国際賞」を受賞。これらを背景に、聖徳太子の命日・日露戦争の最中に島根県に編入された目に因んで「竹島の日」と定められた2月22日に、松江市「太陽ホール」を起点に世界から著名な29名の講師の参加を得て「平和・環境・健康はひとつ」国際ZOOMシンポジウム、6月5日には、北海道・東北地方の縄文遺跡世界遺産登録発表をきっかけに「故きを温ね 新しきを知る」ZOOMシンポジウムを開催、人類・世界規模の「真の地方創生事業」の流れがはじまった。

社は「社業を通じて世界に喜びの輪を広げよう」経営理念「おもしろおかしくたのしくゆかいに」行動指針「三方良し 先義後利」を掲げて経営に奮闘、77歳を迎えた小松昭夫は、人類の脳の特性を阿修羅像から感じ取り、「宿命・運命・使命・天命」を悟り、「説明・説得」から「共感・納得」そして人類進化に至る「天略(原理)・政略(原則)・戦略(現実)・戦術(現場)・戦闘(現物)」が動き出す「平和・環境・健康はひとつ」のシンポジウムを2回開催した。



1989年4tトラックに展示機を乗せ全国にPR



境港から韓国便輸出入を開始。



工場や店舗、厨房などの出入口に設置されるシートシャッター「happy gate 門番」。東京・豊洲市場にも導入されている。



右／2007年に国土交通大臣表彰を受賞。左／1991年に第6回国際ニュービジネス大会にて大賞受賞。審査員長 牧野昇氏(元 三菱総合研究所会長)。



右／2012年に内閣総理大臣表彰ものづくり日本大賞優秀賞を2012年に受賞。受賞式に参加した開発メンバー。左／2012年にJSDA社団法人日本シャッター・ドア協会(会員170社)から、同協会の高速シートシャッター初代委員長として、その功績を高く評価され感謝状を受けた。



小松昭夫 こまつあきお 小松電機産業株式会社 代表取締役 / 人間自然科学研究所 理事長

1944(昭和19)年、島根県八束郡八雲村(現松江市八雲町)生まれ。島根県立松江工業高等学校機械科を卒業し佐藤造機(現三菱マヒンドラ農機)に入社。研究所でコンパインの開発設計に携わった。1973年創業、1994年に人間自然科学研究所を設立。2012年に新産業創造による社会貢献で藍綬褒章を授与される。2013年に「世界の平和フィランロピスト20人」、2014年にスットナー賞、2019年に岡倉天心国際賞に選出された。誕生日に社員一同から送られた勝負ネクタイをつけて。



人間自然科学研究所
新聞・雑誌資料アーカイブス



朝鮮半島と日本列島の使命
PDF: 1.5MB



上／シートシャッターの製造ラインの横には歴代のシートシャッターが並び工場見学が行える。下右／創業地の八雲工場を創業 44 周年を期に新たな出発をテーマに改修。下左／強風や空気圧差にも強いパイプ入りの「happy gate 門番」。電気を使わず空気圧で稼働するタイプや、マイナス 25℃まで耐えうるタイプなど開発が続く。

社会的な問題が経営資源。 天略と先端技術で問題を昇華し新たな事業を創造。

新入社員ながら研究所に配属され、農機の開発・設計に携わった。自分の境遇と人生、社会を見渡し、歴史を振り返り、何のために、何をすべきかを常に考え、同時並行で色んなことにあたり、実行する。

先を見据え、何のために何をすべきか考察、究極の目的を定め、具現化のための手段として目標を掲げ、計画を作り、布石を打ち実行。「動中の工夫、静中に勝ること百千億倍」、試行錯誤しながら結果が出続ける流れを生み出す。

周囲から見れば突拍子のない行動でも、明確なミッションがあり、試行錯誤の末、そこに至るロジックが存在する。時が経って成就すると、編集された過去の資料・写真・映像を観て、理解が広がる。

「問題が無い」が一番の問題。困っていることをよく聴き、観察、アイデアをもとに、試行錯誤を経て、商材が生れ、品格の伴った商品に進化していく」

入社 8 年、大きな転機が訪れる。地元唯一、一部上場の佐藤造機は時代の変化と激動する業界の流れに飲み込まれ、経営破綻。これを契機に退職、自分の人生と家族の生活の両立のため大阪に出て事業家を目指し、新たな道の模索をはじめた。



小松電機産業の原点は松江の南東の旧八雲村東岩坂。小松昭夫はラジオ・電機・機構学の好きな正義感の強い少年だったが、戦後の銀行・農地改革で生家が没落。大学に進学する余裕がなく、早く社会に出て家族を支える必要があった。そこで地元には本社と研究部門があり全国展開している農機メーカー・佐藤造機の研究所に入社すべく、松江工業高等学校機械科へ進学した。

高校 2 年の夏休みは鋳物部品を加工している協力工場、3 年の夏休みには佐藤造機本社工場のミッション加工部門や廃棄自動車のトランスミッションの解体を請け負うアルバイトを通じて、高校生時代からトランスミッションの

研究を重ねた。

10 キロの道のりを自転車で行きながら、担任教師の親戚が営む家具店で、同級生に呼びかけペーパー・タンスの設計・広報の仕事を手伝うなど、学びながら将来を見据えて働く学生だった。

竹内神社の秋祭りに合わせて開かれる農機の展示会では、耕運機のカタログを集め、メーカー各社に卒業論文のための資料送付を依頼。日本の耕運機の発展の経緯と現状と将来をまとめた論文は 350 名の全卒業生で 1 位を獲得した。

入社後、その論文は大いに役立ち、他社情報に詳しい 18 歳の小松青年は



水に関するあらゆる施設をクラウド管理する「やくも水神」。PC 同様の機能や画面をスマートフォンやタブレットで災害などの緊急時にもスピーディに的確に対応できる。2020 年度には「クラウド型リアルタイム表示」が中国経済産業局長賞を受賞した。





新聞に連載された周藤彌兵衛翁の物語をまとめた絵本をはじめ水の偉人の物語を後世へ伝えようと書籍を刊行している。

「三方よし」 「先義後利」を 念頭に判断・行動

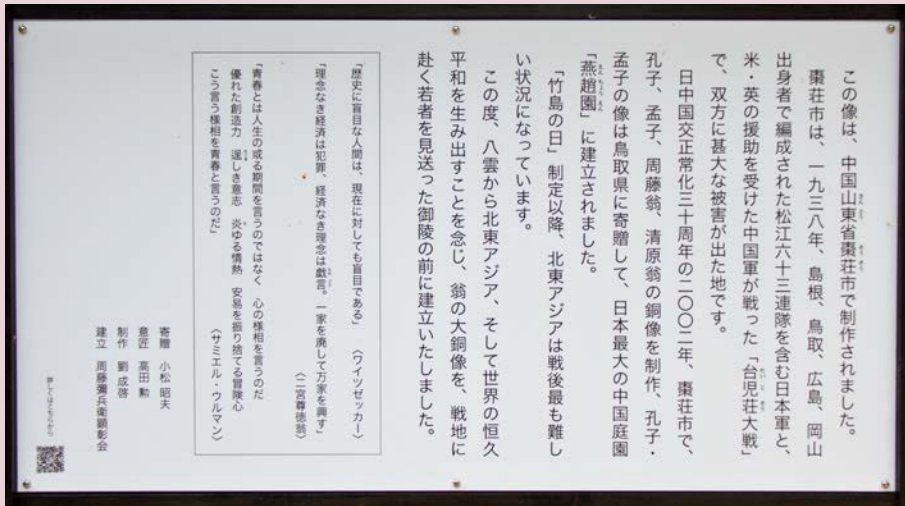
佐藤造機が倒産する少し前、46年豪雪の2月26歳の小松昭夫は1か月間の休暇を取り、人生を見直すため、新入社員教育で「一燈園」の三上和志先生に人生の指針を頂いた安来の清水寺で、座禅に入った。

しかし1か月間の座禅で、答えは得られなかった。帰り道、雪の積もった石段を傘をさして降りる時に、閃きがおき「未来で必ず訪れる死から現実に至る過去と繋ぎ、今なすべきことをすぐやる」という思考回路が確立した。

これが人生の軸になり、時を経て小松電機産業・人間自然科学研究所の「事業・社会・経営理念・行動指針」に繋がっていくこととなる。

見聞を広め、念いを現実化するために、向かったのは大阪。小さな会社がアイデアと試行錯誤で大手に対抗している場面を目の当たりにした。

そして1973年、故郷に戻り、弟とともに起業する。元手は2人分の失業保険30万円、生家の納屋を改造、5万円の中古トラックを購入、残った10万円と工具箱ひとつの船出だった。



上／意宇川河畔の周藤彌兵衛翁像は高さ2.7m、幅2.8m。出家し一人で鑿を振るう姿に圧倒される。地元では周藤彌兵衛翁の顕彰会が作られ子どもたちの教育に生かされている。下／周藤彌兵衛翁像前の案内看板には建立の経緯と歴史的偉人の名言が記されている。

テム「やくも水神」の開発、そして平和・環境・健康はひとつをテーマにした「人間自然科学研究所」の社会活動を誕生させていく。この、環境に配慮した大ヒット商品の開発は、当社が業界の談合・癒着体質から脱却したことにより生み出された成果であり、いわば災い転じて福となすを地で行く快挙だった。また、人間自然科学研究所の活動は、世界人類史を視野に入れた思索と実践に繋がっていく。

山陰の強い冬の季節風という地域の悩みを解決することから生まれた「happy gate 門番」は、顧客の意見を積極的に取り入れ、防虫・防塵・抗菌・低温・高温・帯電防止・防爆などの開発を進め、今や全国・世界に業界が広がり、永遠のマーケットが誕生している。

1991年10月「シートシャッター門番」がニュービジネス大賞最高賞を受賞、翌年2月上場準備発表を期待されていた大賞受賞パティの席上で、宮澤総理の韓国談話を受け1992年2月「韓国に技術無償供与」を発表した。『買い百両、見切り千両、無欲万両』の言葉はあるが、この発表は、新聞に大きく取り上げられ、証券・金融・産業界・社会を驚嘆させた。

さらに、業界の要請で、「社団法人シャッター・ドア工業会」に新設された「シートシャッター委員会」の初代委員長に小松昭夫は10年間就任。構造・安全・保守基準の作成、業界初のエコマークの取得を通じて、ライバル国内会社社に技術を公開。また世界規模で展開するアメリカのアルパニー社を通じた、アメリカ、ヨーロッパの沢山のメーカーとの2年に渡る交流も、周囲を驚かせた。

買い手よし・売り手よし・世間よしの「三方よし 先義後利」を業界だけでなく、国際社会



日吉切通し
劔神社
ドローン映像

地で行く判断だ。
歴史問題を抱える日本の、一地方の一事業家が世界の中で戦後責任を果たすための数々の判断・行動を推進していく背景には、故郷の水の偉人・周藤彌兵衛翁の姿が重なる。
約300年前、二宮尊徳翁より50年早く、周藤彌兵衛翁は、たび重なる意宇川の氾濫によって甚大な被害を被る村を救おうと、私財を投じ生涯の大半をかけて岩山の開削に打ち込んだ人物である。56歳で一念発起、村人の非難や家族の不幸に見舞われながら、鑿と槌で岩を削り続けた。意宇川を迂回させるための切り通しが完成したのは97歳の時。その後、102歳で大往生を遂げた。
当時102歳は超々大往生、健康寿命の見本。コロナ・パンデミックスは、現代人に生き様の再検討を迫っているようにも感じられる。アブラハム・マズローが晩年に言っている自己超越実現、佐賀鍋島藩の『葉隠聞書』など健康寿命に繋がるヒントがあるのではないだろうか。
人間自然科学研究所が主催した全国・世界水の偉人覚醒顕彰祭では、水の偉人172人目にアフガニスタンで「1000の診療所より1本の用水路」を実践された中村哲医師も名を連ねている。

右／現在の八雲町日吉の切り通し。開削以前は剣山から続く稜線が川を堰き止めて氾濫を招いた。削られた剣山の断面は高さ20mを超えるという。
左上／2014年に開催した八雲立つ出雲から陽が昇るシンボジウムで来日したオランダの芸術家イングリッド・ロレマ氏。 左下／日吉切通しと周藤彌兵衛翁像のすぐそばにある創業の地八雲事業所がある。



最初に手がけたのは大阪で身につけた、元手のいらないポンプ修理業。その年の秋、第一次オイルショックで社会が激変する中、資材を求め、大阪と島根を往復。ポンプ修理業から工場向けの電機制御装置・配分電盤、さらに簡易水道の計装システムへと、孟母三遷の教えに習い、分野を移行しながら事業のノウハウを蓄積していく。
実績を積みながら業務を拡大するも、仲間内で談合、それ以外の人たちを餌食にし、倒産の噂も広がり、6割の社員が会社を去り、配電盤から撤退。稼働しなくなった板金機械設備を活かし、三菱農機の依頼で始めた、折り畳み式シートシャッターを進化させ、空気環境に寄与するという社会的役割を担った大ヒット商品「happy gate 門番」、世界初のクラウドによる水管理シス





座右の銘「中庸」。孔子や孟子、墨子、孫子、西周、ガール・デーネシュ、ユヴァル・ノア・ハラリをはじめとする古今東西の哲学に広く深く学び、多くの気づきを得ている。

対立の文明から 共生の文化へ。 平和実現の道を 探求し実践する。



3 面阿修羅の時代から 6 面阿修羅の時代を経て、
今、日本の穴道湖・中海・大山園から「平和・環境・
健康はひとつ」の 9 面阿修羅の時代へ

あらゆる生命が生きるために不可欠な空気と水。この二つに関わる事業を創造。その収益でドゥー&シンクタンク「人間自然科学研究所」は26年以上活動を続けてきた。その映像は、難問を資源化、未来を生み出す人類共有のプラットフォームを形成する一翼を担うため、HPに記載され、世界から誰もが観られるようになっていく。

周藤彌兵衛翁が生れた八雲村で開発された「やくも水神」は、2000年に出雲市に提案、採用。石見地方、幕張メッセの展示会出品をきっかけに全国に広がり、現在では480自治体、1万4000施設に採用されている。

NHK番組「サキどり」でも取り上げられたように、松江生まれのプログラマー言語「Ruby」をいち早く取り入れ、「Ruby」の全国・世界への普及、社会インフラとしてのクラウドコンピューティングの広がりにも絶大な役割を果たした。

クラウドによる世界初の総合水管理



中国の古典から「平和・環境・健康」に関する名言を選び『中国古典名言録（中日韓米4ヶ国語）』を5年の歳月をかけて編集。巻頭に出雲大社宮司・千家尊佑氏による「幸魂奇魂」の文字がある。

いち早く「やくも水神」を導入した東京都町田市では、東日本大震災後の計画

システム「やくも水神」は、専用アプリでタブレットやスマートフォンからリアルタイムで監視・制御・管理が可能。夜中の故障時、広域に点在する施設情報を瞬時に把握・共有・遠隔操作。必要な時にはナビゲーション機能で現場に案内、保全ができる。

停電に備え、事前にマンホールの汚水制御に成功。津波により甚大な被害を受けた宮城県山元町は「やくも水神」で上下水道を整備。東北各地で水門の遠隔開閉管理にも導入されている。

また東京都武蔵野市では「やくも水神」の雨水管理システムによって得た雨水情報をHPで公開。市民一人一人の災害に対する意識が高まりつつある。一方、豪雪被害にあえぐ北陸では消雪施設の遠隔管理に効果が認められ、急速に普及が進んでいる。さらに「やくも水神」は2016年に共用開始となった日本最大級の農林省国営九頭竜川・県営日野川・足羽川下流域バイブラインにも採用され、省庁間をまたぐ水のクロスオーバー管理を実現した。

これらは防災・減災という大きな社会問題を、先端のIT技術により解決へと導いた事例である。自然災害は日本だけの問題ではなく、中国

急

速な世界規模の工業化と国際分業、既得権益中心の考え方が蔓延し、地球温暖化、異常気象を起していることはあきらか。生命・人類の特性から本質的な議論を進め、世界・人類史の視点で構想を創り、具現化のストーリーを生み出し、即実行に移さなければ、人類史で究極の戦後責任を問われる世代になる。

世界規模のコロナ禍と、東京オリンピックが重なり、「反社会的個人・団体・国家」の烙印を人類史に押されかねない状況を迎え、人類は「平和・環境・健康はひとつ」を追求する以外に生きる道はない。



やインドで起きた洪水も記憶に新しい。あらゆる水の情報を一元化、共有化し、人類の生存プラットフォーム構築に本質的な役割を果たしてきた「やくも水神」の20年間に渡る個人・役所・事業体の詳細な記録集は、今注目される人気ラジオ番組へと実を結んでいる。18年目を迎える全国150近くのコミュニティFM局を結び、毎週日曜日朝7時から2時間の生放送を行っているミュージックバードのラジオ番組「おはようサンデー」である。この番組は18年目を迎える長寿番組で、2020年4月からは松江市の「日本の縁結びから世界の縁結びへ・太陽ホール」と宍道湖対岸の「宇宙に広がるムーンスルーム」から生放送が始まり、その放送回数は60回を超えた。音声に映像を付加したダイジェスト動画と相まって、日本はもとより



国営九頭竜川下流域バイパスライン

人類共有の財産、知的資産として、全国・世界から注目が集まる前夜を迎えている。

「企業」ではなく「究極の事業」で得た利益は、世の中のため、平和な未来を創出する「平和・環境・健康はひとつ」事業に投入。これを具現化するための「国民国連」構想を生み出し、世界・人類史で待望される日本政府の誕生に繋がる「政党設立の旗を立てる時を迎えている。こうした社会的事業を創造・実践していくために、ホームページからご覧いただける今までの国内外の活動が記録された映像と、この資料に強い関心を持って頂ける方のご指導を期待しています。



福島県南会津町は、やくも水神を採用し水道監視における住民サービス向上に多大な貢献をされたという功績を受け、平成 30 年度水道イノベーション賞・令和元年度東北総合通信局長表彰を受賞。

朝鮮半島と向き合う 宍道湖・中海・大山圏を 未来社会創出の地に。

強い念い（おもい）で「平和・環境・健康はひとつ」をコンセプトに、未来社会創出のため26年間活動が続けている、ドゥー&シンクタンク「人間自然科学研究所」――。

1994年の設立以来、対話と議論を重ね、戦争責任を「戦前・戦中・戦後」の3つに分け、「共感のステージ」を生み出し、世界の戦争・平和記念館を訪問。学習や献花、寄付を行うなどの活動を続け、紛争・戦争に至る背景・きっかけ・経緯・実態を調査研究。たしかに未来の道筋を確認してきた。

1997年の「韓国独立記念館」訪問、2005年のハワイ・アリゾナ記念館「真珠湾攻撃記念式典」公式献花、2017年の「中国全民族抗戦勃発80周年記念式典&国際二戦博物館館長フォーラム」参加をはじめ、四半世紀を超える活動を通じて世界中に結んだ縁（えにし）は数知れない。その功績と揺るぎないネットワークは国内外から注目され、各地に大きな影響をもたらし続けている。

2021年2月22日、島根県により制定された「竹島の日」に人間自然科学研究所は「八雲立つ出雲から」平和・環境・健康はひとつ「国際Zoomシンポジウム」を開催した。私たちの住む日本は海を挟んで朝鮮半島と向かい合わせにあり、豊臣秀吉の朝鮮侵攻や韓国併合、戦争による遺恨が蓄積され、長らく人権・歴史・領土など多岐にわたる対立が続いている。このエリアは3大核保有国であるアメリカ、ロシア、中国の力が拮抗する結節点。



小松電機産業と人間自然科学研究所のロゴマークは、日本列島と朝鮮半島に挟まれた日本海＝東海に浮かぶ竹島＝独島から発する光が地球をめぐるデザイン。この問題を契機に世界から争いをなくす決意の象徴だ。



オランダ・ハーグの平和宮で開かれた「世界の平和フィランソロビスト 20 人」パネル展示会。小松のほかビル・ゲイツ氏のパネルも見える。

化を促す「水の聖地」と言える。

さらに宍道湖・中海に面した八雲立つ出雲は、龍の名前が付く古利がたくさんあり、日本の古代文明発祥の地にして、人類史上初の「天の時・地の利・人の和」が重なる、朝鮮半島の対岸に位置する究極のパワースポットである。

国際Zoomシンポジウム席上で提唱した、国際平和センターの創設と世界の核放棄へのロードマップ。そして各国の国民代表で構成され、対立を統合発展に導く「国民国連」構想。

一触即発の緊張関係、紛争を招く対立構造は世界を巻きこむ社会問題であると同時に、単なる観念ではなく、恒久平和・環境・健康具現化のための本質的な資源。

26年の歳月をかけて築いてきた共感のプラットフォームが世界に広がり、才能が開花。皆が健康寿命を得て「おもしろおか



上／オーストリアの平和活動家・作家で女性初のノーベル平和賞受賞者であるベルタ・フォン・ズットナーの胸像。オランダの芸術家にして国際弁護士のイングリッド・ロレマ氏が手がけたものだ。下／台座に刻まれているのは、各国の言語で記された「武器を捨てよ」の文字だ。



日中戦争が勃発した中国蕞荊市の聖徳青銅芸術有限公司に、周蔭彌兵衛翁像など数々の銅像の製作を依頼し平和の架け橋としている。2021 年 3 月には「日本と台湾の上下水道の父」とされるウィリアム・K・バルトン胸像が台北水道博物館に設置された。





そへだったのカンパニー 2015 年 4 月 12 日放送
Youtube 24 分 29 秒

小松電機産業株式会社
<https://www.komatsuelec.co.jp>
人間自然科学研究所
<https://www.hns.gr.jp>

本社／島根県松江市乃木福富町 735-188
松江湖南テクノパーク内
事業所／東京・大阪・仙台・ソウル・バンコク
Tel.050-3161-2490



しくたのしくゆかいに」人生を送れるステーションが生れる先駆けを務めることが天命であり天略。
クラウドネットワークやAI、VRなどの先端技術は、平和のためのプラットフォームが生れる資源で、今、ヒト・モノ・カネが集まり社会変革へのコトが始まる前夜。夜明け前が最も暗い。
「平和・環境・健康はひとつ」——世界の恒

2020 年 11 月に行われた「嫁ヶ島万灯会」。平和を願い、千の灯火が灯された。人間自然科学研究所は「嫁ヶ島万灯会」に周藤彌兵衛翁をはじめとする「水の偉人」172 人の灯明を奉納した。全国世界水の偉人の顕彰事業も始まっている。



「和して同ぜず」の由来となった「和而不同」を、樺巖窟松田秀保老師松江市枕木山華蔵寺住職に書いていただき書籍のとびらに記載。本書発刊の際に、当時、小泉純一郎首相へ送らせて頂いたところ、小泉首相からお手紙を頂きました。

久平和創出は広島・長崎の原爆投下を受け、8 月 15 日を終戦記念日と定めた日本が担う人類史的天命。
戦争末期、西日本最大の航空基地が作られた「宍道湖・中海・大山園」は世界の期待を担い、絶大賛同を得て、先駆けを務める場所。
和して同ぜずの追求から生まれた「平和・環境・健康はひとつ」への念いは、「未来社会は予測できないが、未来社会を発明することはできる」の言葉を残したユダヤ人のガール・デーネシュ、「道徳経済合一主義」を実践した渋沢栄一、「社会的共通資本」を提唱した宇沢弘文ら先人たちの念いとも重なる。



2019 年 6 月に「対立から共生の文化へ」を総合テーマに宍道湖畔の袖師地蔵前で円成寺の若月住職を祭主に護摩祈祷を行い、全国世界の水の偉人 171 人の名前と功績を記した灯籠に火を灯し顕彰し「水と火と健康寿命の聖地」を全国、世界に発信した。



夢の芽生える文化と教育
PDF：362KB